

FUJIEDA ROTARY CLUB

Weekly Bulletin

例 会： 毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321
事務局： 藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
E-mail:club1972@fujieda-rotary.org



音羽山清水寺 烏菟沙摩明王

写真提供：事務局

会長：青島 克郎 副会長：松葉 隆夫 幹事：仲田 廣志 副幹事：増田 國衛

第1800回

<ソング> 四つのテスト
<ソングリーダー> 森下 敏顯君



2008-2009年度 RIテーマ

夢をかたちに
李 東建

会長報告

青島 克郎君

2月12日アメリカの商用衛星通信システム「イリジウム」の衛星1号機とロシアが1993年に打ち上げ既に10年前から運用されていない通信衛星コスモス2251がシベリア上空780kmの軌道で衝突しスペース・デブリと言われる大量の宇宙ごみがまき散らされました。この様なデブリのうち追跡可能な物だけでも1万個に達し宇宙開発の問題点になっているということです。

これまで、軍事目的の意図的な衛星破壊実験は何回も行われていますが今回のような事故としての衛星同士の衝突は史上初で、今後この様な事故等が増加する懸念があると考えられています。

これまでに世界各国で打ち上げられた衛星は約6000個ですが地上に回収されたものや、高度が下がって落下したものをのぞいても、周回中の衛星は約3000個以上あります。

人工衛星は搭載機器の寿命とともに軌道維持や姿勢制御をするスラスター用の燃料を使い果たすと衛星としての寿命を迎え寿命末期にはさらに高度の墓場軌道と呼ばれるところに誘導し破棄されます。高度が違うとはいえスペース・デブリと同様に宇宙のごみになることには間違いありません。今、宇宙開発は民間による衛星開発プロジェクトの発足がブームとなっています。東大阪工業地帯の中小企業が共同で設立した東大阪宇宙開発協同組合によるSOHLA-1(愛称「まいど1号」という衛星の開発や、宇宙開発関連システム開発のソラン社と宇宙関連技術のコンサルタント会社ウェルリサーチ、更に東海大学衛星プロジェクトによる合

同プロジェクトが障害を持った子供達の夢をつなげるというコンセプトのもとに開発しているSORUNSAT-1(かがやき)などが有ります。

また、自ら衛星は作らないものの将来有望とされる人工衛星を使った宇宙ビジネスのシステム開発に参入する企業は跡を絶ちません。

自動車をはじめあらゆる物の技術開発による物造りによって確かに生活は便利になりました。しかし環境破壊などその代償も計りしれません。

新しい物を開発し作り出すことはやり甲斐もあり面白いことですがこれからは物を作り出すことを考えると同時にそのものの寿命が尽きた時に如何に世の中に悪影響を及ぼさないかということをも単なるリサイクルというレベルではなく考えることが重要だと考えます。無秩序な物造りの後遺症が地球だけでなく宇宙にまで及びその付けがはずれ回ってくると言うことを肝に銘ずる必要があると思います。

幹事報告

仲田 廣志君

- ロータリーの友事務所より「友」インターネット速報 No 370 がメールで届いております。(新種の詐欺メールに注意して下さい)
- 藤枝社会福祉協議会より第3回評議会資料が届いております。

出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
26 / 36 72.22%	23 / 36 63.89%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

石垣君 北村君 飯塚君 板倉君 大塚君
鈴木舜君 仲田晃君 水野君 望月晃君 望月志君

(2)メイクアップ者

栗原 毅君(静岡東) 鈴木 勝弘君(静岡東)

ビジター

薮崎 宰一君(藤枝南)

スマイルBOX 青島 彰君

●結婚祝有難う御座いました。祝って呉れるのはロ-タリークラブだけ 今年結婚50周年(金婚式)の年でもあり夫婦で2人合わせて150才自分も77才喜寿の年 3重の喜びの年でもあるが世界的不況の年、我が社も自転車操業、火の車 皆様方の情報提供等御協力をお願い致します。

杉山 静一君

●この程当社の焼津物流センターが完成いたしました。物流効率化に貢献して行きます。

松葉 義之君

スマイル累計額 441,000円

委員会報告

『薬を飲むということ』

クラブ広報担当 柳原 寿男君

中川財務相兼金融担当相が辞任した。

(2月17日)風邪薬の飲みすぎと伝えられる。2月14日のローマG7閉幕後



の記者会見の席で、ろれつが回らない醜態を全世界に報道された問題で、引責辞任に迫いやられた。その後の新聞記事でも、13~14日のローマ滞在中、判明しただけで計5回酒を飲み、観光もしていた。随行職員も含めた費用が6,000万円に上る出張の最中のことである。

「酒は百薬の長」ということわざは聞きなれているが、「酒は百毒の長」ということわざもある。医学的には百薬の長なる酒は1合弱に過ぎない。

身を滅ぼすのは百毒の長の方であろう。中川氏本

人は飲酒と「もうろう会見」との関係性を否定しているが、酒にまつわる話題も多かったとのこと、たまたま「百毒の長」と風邪薬を重複して服用した結果、本人も予期せぬ現象が記者会見の席上現れたのではないかと推測できる。風邪薬、特に総合感冒薬とアルコールの作用は、お互いに相乗作用が認められている。

今年も様々な話題を呼んだインフルエンザもそろそろ下火となってきた。しかし、まだ発生しているので注意が必要である。このインフルエンザの特効薬タミフルを服用した10代の青少年が、突然あばれ出し、二階から転落する異常行動が問題となった。悪寒、高熱で発症するインフルエンザは、特に小児に「脳症」という合併症があり、意識障害を来し後遺症を残したり、時に死亡することがある。転落する異常行動がインフルエンザの症状なのか、タミフルの副作用なのか、もしくはその両方の重なったものかはまだ判然としていない。10代の青少年にはタミフルを避け、リレンザという特効薬を吸入させることにしている。そろそろ杉花粉の飛散が始まって、アレルギー性鼻炎の症状(くしゃみ、鼻水、鼻づまり)を訴える人が増えてきた。今年例年より早くて多い。抗アレルギー剤の副作用も人様々で、服用により眠気を催す人、集中力の低下する人がみられる。勉強の能率に影響するなら受験生には大いに問題となろう。インペアド・パフォーマンスといって、知らず知らず集中力、判断力、作業能率の低下することが知られている。はっきりした自覚が無くても、運転や仕事、スポーツなど生活全般に不都合を生ずる可能性がある。抗アレルギー剤の長期運用は要注意と思う。

■ 外部卓話

フォレスト藤枝
ケアマネージャー
青木 桂子様



介護保険制度について

1. 介護保険サービスの利用手順
 - a. 認定申請
 - b. 申請から結果が出るまで
 - ・ 認定調査
 - ・ 主治医意見書
 - ・ 介護認定審査会
 - ・ 認定結果のお知らせ
 - c. 認定の結果を受け、サービスの選択
2. 認知症について
3. 認知症にならない為の予防



(担当/森下)